

平成29年度 宇部市公共交通協議会第4回会議（道路運送法関係）

日時：平成29年（2017年）11月28日（火） 14:00～15:20

場所：宇部市役所 2階 第1会議室

出席者：12名（欠席者3名）

榊原会長、鈴木委員、辻野委員、河内委員、宗像委員（代理出席）、福澄委員（代理出席）、
辻岡委員、吉原委員、木原委員、山根委員、西村委員、藤崎委員

事務局：5名

庄賀総合政策部次長、古林政策企画課長、濱原政策企画課長補佐、
中祖交通運輸政策係長、伊藤交通運輸政策係主任

次第：1 会長あいさつ

2 議事

（1）桃山地域コミュニティタクシーの実証運行について

（桃山地域コミュニティタクシー運営協議会）

（2）公共交通マップの事業評価について

3 報告

・原校区コミュニティタクシーの停留所新設について（原コミタク運営協議会）

4 その他

1 会長あいさつ

2 議事

（1）桃山地域コミュニティタクシー実証運行について

（桃山地域コミュニティタクシー運営協議会） **【承認】**

桃山地域コミュニティタクシー運営協議会から、平成30年1月に実証運行予定の桃山地域
コミュニティタクシーについての説明を行い、承認された。質疑については、以下のとおり。

【委員】

運行ルート、停留所、運行時刻は、地域住民の意見をどのように反映して決めていますか。

運行時刻は、他の事例をみると始発時刻の9時は少し遅いのではないかと思います。

また、実証運行は3か月となっていますが、地域住民への周知は時間がかかりますので、少し長い目で見ていただきたいと思います。

【運営協議会】

運行計画は、平成29年9月末で廃止になった宇部市交通局の桃山線を参考に作成しました。

始発時刻は、運行経費などを考慮し高齢者の買い物や通院に特化することになり、9時からの運行にしています。

【事務局】

運行計画は、市も参加してきた運営協議会の会議で、各自治会長が地域住民の意見を集約して作成しました。

実証運行の期間は少し短いですが、運輸局とも調整した結果、3か月として進めていきたいと思っています。

【委員】

実証運行の開始が平成30年1月ですが、地域住民にどのように周知していく予定ですか。
運営費にある協賛金は、どのようなことを考えていますか。

【運営協議会】

地域住民への周知は、既に会合などで「平成30年1月の地域内交通の導入に向け話し合いを進めている。」と伝えてきています。

また、桃山線の廃止で多くの方から少しでも早い運行の要望をいただいている状況で、12月の広報紙と一緒に運行内容の概要を記載したチラシを回覧することになっています。

本日承認いただければ、12月中に、運行時刻などの詳細な運行内容を記載したチラシを全世帯に配付する予定です。

協賛金は今のところ未定ですが、これから努力していきたいと思います。

【会長】

始発時刻は、スーパーマーケットの開店時刻、この地域に点在する個人医院の開院時刻に合わせているということでしょうか。

【運営協議会】

その通りです。

【会長】

運行地域の道路は幅員が狭いようですが、安全に運行するためにどのように確認していますか。

【運営協議会】

事前に市と地元の方々に走行し、停留所での乗降や車両通行の安全確認をしています。

【委員】

目標値の参考にある1日の運行経費の積算はどうなっていますか。

【事務局】

小型タクシーの30分単位の時間制運賃の下限運賃を基にして、拘束時間から休憩時間を引いた時間で計算しています。

【委員】

車両1台で運用するのであれば運転手も固定されると思いますので、運転手に利用者の意見をよく聞いてもらい、本格運行に向けた改善に繋がっていただきたいと思います。

車両もラッピングまでではできないにしても、停留所と合わせてアピールして、地域のシンボルになるような工夫をしてもらいたいと思います。

【会長】

運行内容は現時点でこれが最適ということですが、実証運行を開始してから見直しが必要なのところも出てくると思いますので、よく情報を収集して改善を図っていただきたいと思います。他に御質問がないようですので、この件について承認ということによろしいでしょうか。
(全委員異議なし)

(2) 公共交通マップの事業評価について 【承認】

事務局から、平成29年10月のバス路線の大幅な見直しに合わせて、国に補助金を活用し作り変えた公共交通マップの事業評価について説明を行い、承認された。質疑については、以下のとおり。

【会長】

公共交通マップはお手元にあるように既に作成されていますので、「事業は適切に実施された」ということになるとと思いますが、今後の改善を含めて気づきなどがありましたらお願いします。

【委員】

バスの乗場案内と主要幹線に下関の表示がありませんので、改正時に追加してもらいたいと思います。

【委員】

公共交通マップの作成にあたり、路線番号等の改善に協力させていただきました。主要幹線はアルファベットを付けて、それ以外は数字2桁にしています。以前は、ひらがなや漢字と数字の組み合わせでしたが、最近多くなった外国人旅行者や留学生も分かるように対応しました。今後の改善としては、主要幹線とそれ以外を明確に区別していきたいと思っています。

【会長】

来訪者にとっても分かりやすいというのは大切だと思います。

【委員】

観光客からバスの問い合わせもありますので、時刻表や公共交通マップを使って対応させていただいています。

【委員】

山口宇部空港の最寄駅はどこかよく聞かれますので、この公共交通マップに明記してもらいたいと思います。

【会長】

来訪者にとっては草江駅が山口宇部空港の最寄駅だということがイメージしにくく、駅名変更も難しいと思いますので、うまく伝えてもらいたいと思います。

バス、鉄道、飛行機が有機的に分かりやすく表示されると良くなると思います。

今回、バス路線を方面別にグループ化し色分けしたので分かりやすくなったと思います。

【会長】

事業評価については、この内容で承認ということによろしいでしょうか。

(全委員異議なし)

3 報告

・原校区コミュニティタクシーの停留所新設について（原コミタク運営協議会）

原コミタク運営協議会から、平成30年1月に停留所を新設することについて説明を行った。質疑については、以下のとおり。

【会長】

本件が協議事項ではなく報告事項となっている理由は何でしょうか。

【事務局】

既存のルート上に停留所を新設しますので、路線バスなど他への影響がほとんどない軽微な変更であるため報告事項としています。

【会長】

地域住民からの要望により、住宅の多い地域への停留所新設であり、利便性が高まることなので、問題はないと思われます。

【運営協議会】

地域住民から多くの声が上がリ停留所新設に至ったきっかけは、コミュニティタクシーの周知が地域の末端まで行き渡ったからだと思っています。引き続き周知に努め、地域の声を改善に繋げ発展させていきたいと思ひます。

これまで利用者からは運転手の対応が良く、乗り心地も良いと聞いていますが、一度でも対応が悪いと利用者が離れてしまいますので、運行事業者には引き続き丁寧な対応をお願いしています。

4 その他

事務局から、平成30年1月31日に宇部市で開催される「EST（環境的に持続可能な交通）創発セミナー」、「JR宇部線・山口線・小野田線・美祢線スマホスタンプラリー」、「JR宇部線・小野田線定期券・回数券・団体乗車券購入キャンペーン」、サンデン交通の「冬休みこども50円バス」の紹介をした。